



大谷地だより

Vol.65

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 松倉 千春
編集責任者 事務局 編集委員
印刷 北海道リハビリ

同窓会総会・懇親会開催！

～今年もビンゴ大会で盛大に！～



土橋信男理事長

去る十月十五日、二〇一〇年度の北星学園大学同窓会総会・懇親会が、札幌パークホテルを会場に開催されました。当日は、午後三時三十分から二階パールルームにおいて定期総会が行われ、松倉千春会長による開会の挨拶の後、議長に中村一寛さん（一九七



金井新二学長

一年経済学科卒）、書記に大野秋奈さん（二〇〇九年生活創造学科卒）を選出し、次の二議案について協議されました。

議案一「二〇一〇年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について」は、それぞれの担当者から説明・報告がなされ、提案どおり了承されました。

議案二「二〇一一年度活動計画・会計予算について」は、原案どおり了承されました。

総会終了後、三階パルクホールに会場を移して懇親会が開催されました。司会の中嶋あゆみさん（二〇〇八年心理・応用コミュニケーション学科卒）による進行のもと、まず、大学の草島豊チャプレンにより、聖書拝読と讃美歌が斉唱され、最後に祈祷が行われました。参加された方の中には、学生時代の一ページ



永田勝彦先生

を思い出された方も多くいたのではないのでしょうか。その後、松倉千春会長、土橋信男理事長の挨拶、金井新二学長の乾杯で宴を開始しました。

大学と短大の各学部学科の同窓会会員をはじめ、招待教員として、短大から永田勝彦先生、大学から太田原高昭先生、渡辺洋先生、林浩康先生がご出席くださいました。出席予定だった高橋孝先生は、残念ながら都合によりご欠席となりました。また、現職の教職員の方々も数多く駆けつけてくださいました。旭川、帯広、北見、釧路、東京、千歳、函館の各支部からも支部長、副支部長、支部長代理、支部幹事の方々が出席くださり、全体では一七〇名を超える出席者となりました。

懇親会の中では、懐かしい招待の先生によるご挨拶の後に、今年度の同窓会表彰授与が行われ、同窓会活動に長く寄与された、畑中博史さんなど四名の同窓生が表彰され、松倉会長から表彰状と記念品が授与されました。続いて各支部長・支部長代理による支部活動報告、同窓会奨励生四名の紹介などが行われました。

懇親会も終盤となったところで、昨年に引き続き「お楽しみ豪華ビンゴ大会」が開催されました。昨年から実施されているビンゴ大会は大変好評で、今年も番号が発表される度、会場内は大変な盛り上



太田原高昭先生



渡辺洋先生

がりをかせていました。当選した人には景品が贈られ、当選しなかった人にも参加賞としてオリジナルの「卒業記念図書カード」が配布されました。ビンゴ大会後の和やかな雰囲気の中で、上杉信一旭川支部長による乾杯が行われ、盛会のうちに今年度の懇親会を終了することができました。今年度も同窓生の皆様をはじめ、関係者の方々の温かいご支援のもと、無事に総会・



林浩康先生

懇親会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。次回の総会・懇親会は、十月十三日（土）に大学開学五〇周年記念祝賀会と合同で開催します（次の大谷地だより九月一日号、大学ホームページでお知らせします）。是非ご出席くださり、懐古と展望のひと時をお過ごしいただけたらと思います。多くの同窓生のご参加を心よりお待ちしております。

卒業おめでとう

同窓会長 松倉 千春



北星学園に集う全ての人々より、東日本大震災犠牲者に哀悼の意を表します。

北星学園大学・短期大学の君たち、卒業おめでとうございませう。北星学園大学・短期大学部同窓生の皆さんを代表し同窓会長として心からお祝い申し上げます。

大変な年に、卒業する君たちに「贈る言葉」に詰まってしまう私です。

君達は、「習い」「教わり」「学問」の時を修了し、ある者は学問を継続し、ある者は就職し社会に。しかし、意に叶った諸君、諸姉がどれだけいたでしょうか、大いに疑問が残ります。既に、周知の事実であります。リーマンショックに端を発し、世界全体が

北星学園大学同窓会 役員名簿

任期：2011年10月1日～2013年9月30日

本部			
職名	氏名	卒業年	職名
会長	松倉 千春	経 69	幹事
副会長	高倉 尚子	社 56	〃
〃	阿知良 俊一	社 70	〃
〃	齊藤 山誠	経 71	〃
幹事	栗田 淑子	家 57	〃
〃	小村 知江	短英65	〃
〃	中村 一寛	経 71	〃
〃	江口 隆男	経 72	〃
〃	有澤 三子	英 74	〃
〃	竹内 和子	英 74	〃
〃	高橋 雄雄	社 74	〃
〃	齊藤 美樹子	経 74	〃
〃	築地 千穂子	社 75	〃
〃	森谷 恭一	英 78	〃
〃	森田 康雄	経 82	〃
〃	池田 雅子	社 82	〃
〃	宮内 聡	社 87	〃
〃	高橋 麻里子	英 87	〃
〃	白倉 幸美	家 87	〃
〃	佐藤 克剛	経 91	〃
〃	鈴村 賢吾	経 91	〃
〃	村上 信也	経 96	〃
〃	三澤 城太郎	経 96	〃
〃	牧田 浩一	社 97	〃
〃	片岡 徹子	英 97	〃
〃	山鹿 貴子	短英97	〃
〃	佐々木 洋心	英 00	〃
〃	幸坂 希	英 01	〃

支部			
職名	氏名	卒業年	職名
旭川支部長	上杉 信一	経 71	〃
〃	蔵 訪	家 56	〃
〃	駒ヶ嶺 剛	経 05	〃
〃	馬場 慎吾	経 06	〃
〃	北村 修一	法 11	〃
〃	佐藤 淳哉	計 11	〃
会計監査	山内 紀明	社 92	〃
〃	今 康昭	経 92	〃

支部			
職名	氏名	卒業年	職名
旭川支部長	上杉 信一	経 71	〃
〃	蔵 訪	家 56	〃
〃	駒ヶ嶺 剛	経 05	〃
〃	馬場 慎吾	経 06	〃
〃	北村 修一	法 11	〃
〃	佐藤 淳哉	計 11	〃
〃	山内 紀明	社 92	〃
〃	今 康昭	経 92	〃

りました。特に、アスリート達の活躍は、「被災者の苦悩と共に頑張ろう」と誓い、不可能を可能にしてくれました。連帯の輪が私達の中にあることをおしえてくれました。また同じように北星学園大学も幾多の難関を切り開きながら、これまで巨大になりました。一九六二年創立、翌年一九六三年十二月校舎が炎の中で崩れ落ちていくのを茫然と見守っている一枚の写真があります。最初の苦難でありました。北星学園大学に共感し、全国から集った教授陣その多くは敗戦を経験した強者でした。既に初老であった第二代鷺山学園長先生の情熱が、炎に包まれる学舎に、一度は膝を付いた強者も一期生も職員も、自らを奮い立たせ、重荷を背負い、再建へ静かに力強く進みだしました。第七代山崎学長は、ロマ書第五巻四節「忍耐は鍊達を生み出す。鍛錬は希望を生み出すことを知っているからである。五節「そして希望は失望に終わることはない」。引用した説教は「力強く」、大

私にはクリスチャンではありませんが、北星学園大学はknowledge and action in Christだと私なりに確信しています。君達は何時の時代にあっても、時代に抗い、弱者の逆境と共に苦楽を共にしていくことが高等教育をうけた者の役割です。進路はまだ定まらない諸君もいるでしょう、しかしなにも恐れることはありません。北星学園大学で学んだ精神と理念、それを支える伝統をバネに現実の場で大いに活躍してください。希望は失望に終わらないのです。卒業おめでとうございま

しかし、素晴らしい年でもあ



退職後初めての同窓会（懇親会）への出席

三宅 章介 退職教員

在職中は数回を除いては殆ど出席していた同窓会の懇親会、退職後、初めての懇親会出席であった。最初の学生部長を経験してからは殆ど出席していると思います。名前までは記憶していないが、年はずっとも、見覚えのある顔……。一言二言する内に昔の記憶が蘇ってくる。今年も同じであった。小生の風体は昔と変わらないらしいが、22歳当時の顔と数十年後の容姿はかなり変貌しており、多くの卒業生に多分の失礼があったかも知れません。今年は、旧教職員も多く出席され、古い卒業生も大いに満足された事と推察されます。

私は、ご連絡があり、生存している内は必ず北星学園大学同窓会の懇親会には出席するつもりです（石川先生からの教え）。

被害者＝加害者にならないように、日常における適度な運動を常に実施するように念願しております。次年度も同窓会で「再見」。

同窓会での懇親会を利用し、同期会・クラブ等の集会の一次会に利用することも可能だと思いますので、是非ご利用下さい。

次年度も出席の予定です。昔の事を語り合ひましょう。

懐かしいあの頃の笑顔に再会。 2011. 懇親会だより

去る10月15日に札幌パークホテルで行われました懇親会は、札幌だけではなく道内各地からお越しくださった同窓生、そして、現旧の教職員、さらに、奨励生として採用された在学生など合わせて173名の参加となりました。同窓生同士はもちろん、現旧の教職員と久しぶりの再会を楽しみ、また、新たな交流をされ、学生時代の懐かしい一コマを思い出していただけたのではないのでしょうか。さて、今号では、昨年に引き続き大変な盛り上がりを見せました大ピンゴ大会で賞品をゲットした幸運な方々に、寄稿いただきましたので、ご紹介したいと思います。

今年も懇親会でお会いしましょう。

2012年10月13日（土）18時から札幌パークホテルで開催します。大学開学50周年の記念祝賀会との合同開催となります。申し込み方法等は次の第66号（9月1日発行）でご確認ください。



同窓会懇親会に参加して

小田 進一 1975年 社会福祉卒

思いがけなく、「大谷地だより」に文章を載せていただく栄誉をいただきました。恩師、永田勝彦先生が参加されると聞き、北星入学以来、40年にして3度目の同窓会懇親会参加でした。同期、ゼミの仲間が思いの他多く出席していて懐かしいひと時を過ごさせていただき、日ごろご無沙汰している恩師のお変わりのない姿に、年を忘れる思いでした。

私、卒業以来5度目の転職で、14年前から他大学の教員として外から学び舎に接しております。北星は、先行するライバルであり、学ぶことの多い同業者です。また、3年前より「旭町」界隈に住んでおります。合宿した会館。神社。公園。店。周りに有った谷地や原野。学生時代の思い出多き場所にこのように住まいするとは思っていませんでした。

御同輩諸氏、同期の還暦まで未だ日はあります。うまい酒が飲めるうちに集ってみるのも一興じゃあないですか？暇というわけではありませんが、北星の近くに居りますので、使っていただければ幸いです。

ピンゴはあまり当たったことがないのですが、機会だったのですね。同窓会幹事の皆様、有難うございました。さらなるご発展を期待しております。



夫の見舞いより懇親会

畠山 紀奈子 1979年 英文卒

まずはじめに、懇親会開催に毎年ご尽力を頂いております、同窓会事務局の皆さまに心より感謝を申し上げます。

さて、私は懇親会の数日前より風邪をひき、前年「肺炎」にかかり、やむなく懇親会を欠席したことを思い出しました。せっかく楽しみにしている懇親会をまた欠席するのは忍びなく、入院している夫に「美味しいご馳走が待ってるので、お見舞いは控えます」とメールをしたのでした。そして、無事出席。次々と運ばれてくる見た目にも美しいご馳走の数々に舌包みを打っているうちにピンゴ大会。何と、信じられないことに私は5位！過分なる景品を頂戴し有頂天になっているところに、突然、しずしずと目の前に職員の方が現れました。その手には封筒がしっかり握られていて、この原稿の依頼だったのです。幸不幸は紙一重、天国と地獄を味わい、世の厳しさを痛感いたしました（笑）。

また嬉しいことに、1年の教養ゼミでご指導頂いた渡辺先生に40年ぶりで再会できました。懇親会はこのように、懐かしい諸先生や友人に再会できる場所です。もっと沢山の参加があるといいですね。今回は時間が変更され、午後4時開催となりました。この時間設定は主婦にとっては、出にくい気がします。というのは、昼食の後片付けをしたら、すぐ夕食の支度をしないといけなからです。もちろん私が家のように、「適当に食べて」で済むご家庭もあるでしょうが、そうはいかないご家庭も多いのではないのでしょうか。

最後に、本学と同窓会の益々のご発展、ならびに、教職員の皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



久しぶりに“北星の風”を感じて

船場 健太 1990年 社会福祉卒

毎年秋口になると、同窓会懇親会の案内が送られてきます。「今年こそは」と思いつつも、何かと踏ん切りがつかずに何年も経過してしまいました。そのような私が、今回思い切って初めて出席した理由について2つあります。1つ目は、当時お世話になった先生方が次々と大学を去ってしまい、「今回を逃すと会えなくなってしまうのではないか」という危機感を感じたこと。2つ目は、卒業してからかなりの年月が経ってしまい、大学ともつながりが薄くなってしまった私にとって、改めて「北星の一員であった」ということを再認識したいという気持ちが働いた為でもありました。

私の座った座席は、私より更に何年も先輩の方々の方々のテーブルで、「場慣れ」している方ばかりでしたが、「新参者」の私に対しても気さくに接して頂き、いつしか緊張もほぐれ、大変楽しいひとときを過ごすことができました。また、昔と変わらない生き生きとした先生方の姿にも深く感銘を受け、現在の自分の仕事に対して、気持ちが引き締まる思いもしました。

北星の良い所は、「どのような人でも受け入れる度量の広さ」と「アットホームさ」また、肝心な時に的外さない「誠実さ」であると思います。今回は久しぶりに“北星の温かい風”に触れることができました。出欠に迷っている方、思い切って会場に足を踏み入れてみてはいかがでしょうか。

久しぶり、元気、そして笑顔。

佐藤 淳哉 2011年 福祉計画卒

3月に卒業し、初めて迎えた同窓会。同窓生として、学校法人北星学園の事務職員として参加させていただきました。懇親会の受付をしていると、どこからともなく「久しぶり」、「元気だった」という会話が聞こえてきます。しばらくそのやり取りを見てみると、どの方も笑顔になり、楽しそうに会話をしています。皆様の温かく、健やかな笑顔を見ているだけで、私まで自然と笑みがこぼれてきました。

初めての同窓会で、私にも久しぶりの再会が待っているとは思ってもみませんでした。ふと、周りに目をやると、高校時代の校長先生、公民を教わっていた先生がいらっしゃいました。ご挨拶をすると高校時代と何も変わらぬ温かい話し方に懐かしさを感じました。昔とお変わらないお元気そうな顔を拝見し、また先生方が自分の先輩であること知り、非常に嬉しく思いました。

人とのつながり、思い出に、多くの笑顔が溢れる年に1度の同窓会。参加できたことを嬉しく思うと同時に、今後さらに発展し、人とのつながりが増えていくことを楽しみにしております。



支部だより

旭川支部：近況

旭川支部長
上杉 信一



有意義な一日

いま、我々を取り巻く環境は決して甘くないものと私自身強く思うこの頃です。経済的に見れば、

ユーロ経済圏に属する金融会社デクシアの破綻を端緒としてヨーロッパ経済がかなり危うい状態であることを報道関係により知らされ、又日本経済というところ東日本大震災の影響が未だ尾を引き、我々国民に経済的負担を強いる状態が続いております。又、T P Pの問題も議会の十分な議論がなされることなく、情報が錯綜し、首相の「参加ありき」が目立っている。もつと国民にわかり易い情報を提供してもらいたいものである。

昨年十月一日に歴史ある旭川支部の二代目支部長に決まったものであり、前支部長で、現在は北星学園大学の同窓会長で旭川支部の顧問をお願いした松倉千春様の後釜に決まりその重責を担うのが誠に心苦しく思っている所で御座います。その日、旭川ロワジュールホテルにて講演を金井学長に御依頼、快諾を得て、今様の学生気質についてのお話を楽しく拝聴させて頂きました。

帯広支部の活動と
同窓会へのお誘い

帯広支部 副支部長
成田 啓介

二〇一一年九月十日(土) 定期総会並びに懇親会を帯広市内の串焼き創作料理「よにき」で行いました。

同窓会本部より、松倉千春会長、高谷尚子副会長、斉藤誠副会長の三名、大学からは澤田副学長をはじめ十二名の教職員の皆様にお越しいただきました。支部会員は二十三名とここ数年総勢四十名前後の参加となっています。

定期総会のあとは、懇親会で、同窓会長の挨拶や参加していただいた同窓生の近況報告といったシンプルなお話や仕事の悩み、自分のことを話すだけでも身近な存在になると思います。

きました。三十名弱の参加者で晚餐をさせて頂きおいしい料理に舌鼓をうち有意義な一日だったことをここで報告させていただきます。

今年は旭川支部三十周年を記念し九月一日に催したいと考えている所でございます。その折には皆様方にも参加を募りますので、御協力をお願い致します。同窓会活動を通じて、今後共、人生を豊かにしていきたい所存で御座いますのでこれから益々の御支援をお願い申し上げます。

北見支部の近況

北見支部長
佐々木 卓

ようやく、北見市役所の移転先が決まり、長年に及んだ騒動に決着がつけました。

市長選挙まで行い、市長が交代したにもかかわらず選挙で敗れた前市長の市役所移転構想に落ち着いた結果に何年かかかって議論をしたのは一体何だったのだろうかと思えるばかりです。

まあ、ボヤキはこの程度にして、私も、今年は六十一歳となり厚生年金が支給されることとなりまして、年金事務所からの通知書類を見ると改めて決して贅沢はできないなあ〜と思ひ知らされ、生活

支部の現状

東京支部長
相馬 洋司

一部六県をエリアとする東京支部は、現在約二、〇〇〇名の会員が在籍しております。

総会・懇親会の案内への返事が約一五〇名、出席者が三十一、四十名というのが例年の現状です。特に今年度の総会・懇親会には出席者三十六名中短大卒業生が二十一名、大学卒業生が十五名でした。

のスタイルを変えていかなければと、考えさせられる今日この頃です。

同窓会活動も、年数を重ねるたびに、参加者が増え喜ばしいことでもあります。

参加された同窓生の職種の多様に今更ながら、北星学園大学の幅の大きさを感しました。

昨年、開催されました、支部の総会におきまして参加される同窓生の数の増加もさることながら、短期大学設立初期の方が参加されたことです。

その元気で活々とした語り口調は、昨今の暗い世相にあって元気をいただくには十分と感じました。学生時代から、北星学園の教育的なモットーである「君たちは、社会の改革者たれ」と教わり、

函館支部の活動

函館支部長
畑中 博史

二〇一一年の函館支部の総会・懇親会は八月二十七日に開催し、同窓生十五名、同窓会本部より松倉会長、高谷副会長、斉藤副会長、中村幹事の四名、そして大学より金井学長をはじめ十一名の教職員

社会を取り戻そう

釧路支部長
櫛部 武俊

三十年後には、高齢者の高速道路逆走はニュースにはならない社会、超高齢・高認知障害率社会に



年に一度の楽しいひととき

支部活動の様子

千歳支部長
ニッ川 憲昭

当支部は、平成八年に設立され、はや十六年を迎えておりますが、同窓会支部の中では一番若い七番目の支部として活動しております。

設立以降、千歳市・恵庭市の会員で主に構成されておりましたが、平成二十一年四月に短大が統合されたことにより、苫小牧市の同窓生も加わり、現在は主に三市の同窓生が中心に活動を続けております。

当市の千歳科学技術大学とは、「eラーニング」による教育コンテンツ開発を通じて、教育や研究全般にわたっての連携協力を推進

の皆さんの参加で楽しい時間を過ごしました。

今年は昨年と比べ参加者が少なくなりましたが、四月に卒業したばかりのフレッシュな同窓生や初めて参加した同窓生などバラエティに富んだ参加者の顔ぶれでした。

総会では議案のミスプリなどのハプニングがありました。すべての議案が提案通り承認され無事に終わりました。議案の中では同窓会が総会・懇親会のつながりだ

けでなく、同窓会への要望や意見を聞くアンケートなども行うことを決めました。

懇親会では函館支部の名物となつた参加者一人一言が今年も行われました。ビンゴゲームで盛り上がりながら、参加された同窓生、本部役員、教職員の全員に一言お話をさせていただき、同窓会に参加しているという実感を味わっていただきました。また皆さんに今の自分のこと、大学の様子などを、

合う、循環・双方向性、社会的居場所、社会的時間・仲間づくり等が求められる所以だ。お隣韓国に視察に行ってきた。韓国も競争社会、新自由主義社会でありながら、一方で、国、大企業、N P O等が力を合わせ社会的企業の創設、新しい雇用創出・文化創造が前進している。これからの日本の希望を見た思いだ。壮年・高齢化の同窓会釧路支部。年一回の交流

する協定も結ばれており、当市と北星学園大学は、今まで以上に絆が深まっているところでもあります。

また、昨年七月、二日間に行われた「よさこいソーラン千歳トナメント祭」においては、参加二十七チーム中「井原水産&北星学園大学」チームが準優勝という輝かしい成績を残しており、大変素晴らしい演舞を披露していただきました。

毎年支部として差し入れしながら応援しておりますが、来年こそ是非優勝目指して頑張ってくださいと願っております。

本年は大学開設五十周年の記念の年であり、また来年は、同窓会設立五十周年の記念すべき年となり、当支部としても出来る限りの

それぞれが思っていることを話してもらおうことでとても親近感がわき、北星の仲間なんだと今年も感じることができた総会・懇親会でした。

これからもより多くの同窓生に参加してもらえよう同窓会本部や大学の力を借りながら工夫していきたいと思っています。

会、一回の総会懇親会ぐらいの活動しかできていないが異業種で頑張る同窓生の「楽しい励まし会」となっている。日本や地域が抱える困難の中でそれは意味がある。同時に同窓会という私的枠組みであるが、オルタナティブな社会・成人教育創造の一員としての役割を考える時期に来ているのではないか。

支援をして参りたいと考えておりますので、より多くの同窓生の参加をお待ちしています。



土橋理事長を迎えて

2011年度
支部総会・懇親会予定

旭川支部	9月1日(土)
帯広支部	9月9日(日)
北見支部	9月2日(日)
東京支部	11月10日(土)
函館支部	8月25日(土)
釧路支部	9月8日(土)
千歳支部	12月1日(土)

※時間・会場等は未定です。

同窓会各支部連絡先

札幌を離れる新会員の皆様、同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。各支部への連絡先は次の通りです。

旭川支部	(1983年発足)	支部長 上杉 信一	(0166) 53-3515
帯広支部	(1985年発足)	支部長 樋渡喜久雄	(0155) 48-6938
北見支部	(1987年発足)	支部長 佐々木 卓	連絡先は北見支部 結城 亨さんへ (0157) 31-1085
東京支部	(1988年発足)	支部長 相馬 洋司	(03) 6666-0821
函館支部	(1988年発足)	支部長 畑中 博史	(0138) 46-2537
釧路支部	(1989年発足)	支部長 櫛部 武俊	連絡先は釧路支部 横田佐佳衣さんへ 釧路東部北地域包括センター (0154) 42-0600
千歳支部	(1996年発足)	支部長 ニッ川憲昭	(0123) 24-8242

◎同窓会事務局
北星学園大学
総務課内
川原、川島、大野
(011) 891-2731

新企画プロジェクトからのお知らせ

オペラコンサートの
申し込み方法について

受付開始日は**5月1日(火)**です。
「オペラコンサート参加希望」とお書き
になり、氏名、連絡先電話番号、参加
希望人数を明記の上、ハガキ又は電話、
FAX、Eメールでお申し込み下さい。
その時点で受付けとなります(当日の
参加も歓迎しますが、会場の都合上事
前にお申し込みください)。

申し込み・問い合わせ先

〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係TEL: 011-891-2731
FAX: 011-892-6097
e-mail: dousoukai@hokusei.ac.jp友人・知人の方もぜひお誘いください。
なお、小さなお子さんの入場はご遠
慮下さい。

講演会・コンサートも回を重ねる度に、多くの皆様のご参加を頂いております。これからも充実した企画を実施していきたいと思
います。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い致します。

オペラ・OPERA・オペラ in 北星 No.10
愛と絆～東北・福島に思いをはせて～

ゲスト

日時: 2012年**5月20日**(日) 午後2時開演 会場: 本学チャペル

SOSからのメッセージ

なぜ音楽は、人を癒すのでしょうか？
人の声に感動したことがありますか？ 人の声に勝る楽器ってあるのでしょうか？
今年も北星チャペルの素敵な空間に声のハーモニーが響き渡ります!!
全国のオペラ公演・TVなどで大活躍の東京二期会テノール岡本泰寛さんと札幌オペラ
スタジオのメンバーが華やかなオペラの世界へ皆様を誘います。
春の午後のひと時、北星学園チャペルでお逢いできますことを楽しみにしております。

札幌オペラスタジオ代表 井出 祐子



岡本 泰寛(テノール)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大
大学院音楽研究科修士課程修了。
1998年、第34回日伊コンクール第2
位入賞。99年、藤沢オペラコンクール、
2002年、第13回日本声楽コンクール
入選。1994年、「魔笛」のタミーノ役で
デビュー。2005年10月に小澤征爾音
楽塾に参加し、天津、上海で「セビリア
の理髪師」特別演奏会に出演、12月に大
阪フィル「トスカ」、2006年3月には、
東京の森のオペラの「オテロ」に出演した。
東京二期会会員。



札幌オペラスタジオメンバー
中森 芳恵・三浦由美子
東條磨見子・小平 明子
村山 元子・佐々木有希
小貫多喜子・福島由紀子
坪田由里子
ピアニスト
池田 小夜・佐藤栄里子
雪田理菜子



去る十二月十一日
(日)、「アドベントの
祈り」と題し、駒ヶ嶺
ゆかりさん(メゾソプ
ラノ)、物部憲一さん
(ヴィオラ)、水月恵美
子さん(ピアノ)によ
るクリスマスコンサ
ートを開催いたしまし
た。

コンサート
報告

アドベントの祈り

「メランコリー フ
インランド」と題され
た第一部では、フィン
ランドの作曲家、E・
メラルテイン、J・シ
ムス等の歌曲、ヴィオ
ラとピアノのデュオ、
アルト、ヴィオラと
ピアノのトリオ。ブラ
ームスの面白さを改め
て認識させられるプロ
グラムでした。

駒ヶ嶺さんの、作品
や作曲家についての説
明もとても解りやす
く、好評でした。歌、ヴ
ィオラ、ピアノ―三
人の美しいハーモニー
がチャペルに響き、ア
ドベントの祈りを感じ
るひと時でした。



去る九月十七日
(土)、若手演奏家グル
ープ「奏楽」の五人
が初秋のチャペルに、
初めての楽器の音色を
響かせてくれました。
チェンバロとファゴッ
トです。J・S・バッ
ハとA・ヴィヴァルデ
イのバロック音楽を堪
能した後、S・ジョブ
リン、フォスター等、
聞き覚えのあるアメ
リカの作曲家作品で場
面がガラリと変わり、
第二部に入ります。第
一部でチェンバロを弾
いた前田朋子さんが、
G・ガーシュインをピ
アノで。立花雅和さん
のフルートが加わり、
この斬新な組合せはお
客様に大好評でした。
構成、曲目、演奏な
ど、新しい風を感じさ

コンサート
報告オータム
コンサート

去る十月八日(土)
午後二時から本学図書
館棟四階A教室で加島
祥造さんをお迎えして
「求めない・受けいれ
る・バランス」と題し
て講演会を開催いたし
ました。文人画展も併
催しました。

人は生まれた時はま
るくて柔らかだが、そ
れが成長してゆくにつ
れて固さを帯びてく
る。それから求めて選
ぶ方向に入り社会の競
争に加わる、ここから
社会の常識が形成され
る。そこから生じた四
角な形の常識が、人の
心にはびこります。四
角な社会は動かない
が、丸い社会は動く。
また、私たちの常識
では、強いものが勝ち、
弱いものが負ける。固
いものが柔らかなもの
を破る。しかし、老子
の言うように、一番柔
らかいものが一番固
いものを破る。風貌は悟り
を開いた仙人のよう
で、心は青年のよう
に若く、未来を
見据えているよう
で

講演会報告

加島祥造講演会

「求めない・受けいれる・バランス」

ユングを挙げながら、
宇宙のエネルギーと大
いなる安心感を得られ
ました。「丸の中の見
えないエネルギー、空
っぽが役に立つ。空
ぼのところには何かを
入れることができる可
能性を含んでいる。今
の私の心の中のように
感じた。」等の共感が
寄せられました。
八十九歳という高齢
にもかかわらず、遠路
はるばるお越しいた
だきました。風貌は悟
りを開いた仙人のよう
で、心は青年のよう
に若く、未来を
見据えているよう
で

2010年度 収支決算書

単位: 円 2011.10.15 総会
2011.10.6 幹事会

費目	予算	決算	備考
【収入の部】			
前年度繰越金	9,199,582	9,199,582	預金(9,179,304)、現金(20,278)
同窓会費	23,440,000	23,460,000	@20,000×1,173
総会懇親会費収入	315,000	327,000	@3,000×87 @1,000×66
プロジェクト	50,000	80,400	コンサート・講演会等募金
利息等	15,000	4,800	定期預金利息
雑収入	0	30,000	ご祝儀、懇親会二次会会費
<収入計>	33,019,582	33,101,782	
【支出の部】			
Ⅰ. 事務費	5,100,000	3,870,019	
Ⅰ. 会議費	550,000	410,304	支部長会議、幹事会 他
Ⅱ. 交通費	4,000,000	3,074,380	幹事会、総会支部招待・支部派遣 他
Ⅲ. 通信費	150,000	140,505	振込料、ハガキ・切手、慶弔電報
Ⅳ. 物品費	200,000	80,453	事務消耗品
Ⅴ. 印刷費	200,000	164,377	同窓会案内作成
Ⅵ. 雑費	0	0	同窓会会費返還 なし
Ⅱ. 事業費	17,720,000	15,086,102	
Ⅰ. 名簿作成費	0	0	卒業生住所録
Ⅱ. 行事費	5,000,000	3,859,780	卒業生記念品(970,032)、懇親会(2,522,012) 他
Ⅲ. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈図書
Ⅳ. 補助費	4,350,000	4,199,050	各支部補助(3,845,000)、英研・大学祭・体育祭補助 他
Ⅴ. 奨励費	200,000	200,000	@50,000円×4名
Ⅵ. 会報発行費	5,700,000	5,150,712	大谷地だより63号、64号印刷代・郵送料 他
Ⅶ. 業務委託費	70,000	20,000	懇親会司会者謝礼
Ⅷ. プロジェク活動費	1,500,000	756,560	講師交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
Ⅷ. 寄附	500,000	500,000	北星学園100周年記念館
Ⅸ. 予備費	0	0	
Ⅹ. 資金積立金	7,000,000	7,000,000	
Ⅺ. 次年度繰越金	0	7,145,661	預金(7,096,014)、現金(49,647)
<支出計>	33,019,582	33,101,782	

収支決算・次年度予算報告

2011年10月15日の総会において
承認された決算及び次年度予算は次の
とおりです。

2010年度 貸借対照表

【通常会計】 2011年9月30日現在

単位: 円 2011.10.15 総会
2011.10.6 幹事会

借方	貸方
資産の部	
現金預金	7,145,661
	7,145,661

【活動資金積立会計】

借方	貸方
定期預金	66,601,442
	66,601,442

2011年度 会計予算

単位: 円 2011.10.15 総会
2011.10.6 幹事会

費目	予算	備考
【収入の部】		
前年度繰越金	7,145,661	預金(7,096,014)、現金(49,647)
同窓会費	21,580,000	@20,000×1,079
総会懇親会費収入	315,000	@3,000×80名 @1,000×75名
プロジェクト	60,000	コンサート・講演会等募金
利息等	5,000	定期預金利息
雑収入	0	
<収入計>	29,105,661	
【支出の部】		
Ⅰ. 事務費	5,100,000	
Ⅰ. 会議費	550,000	支部長会議(60,000)、幹事会(90,000)、役員打合せ(230,000)、慶弔(50,000) 他
Ⅱ. 交通費	4,000,000	幹事会等(210,000)、総会等派遣:本部(1,400,000)支部(600,000)、支部長会議(300,000)、会長交通費(600,000) 他
Ⅲ. 通信費	150,000	振込料(30,000)、ハガキ・切手(60,000)、慶弔電報(30,000) 他
Ⅳ. 物品費	200,000	事務消耗品 他
Ⅴ. 印刷費	200,000	同窓会案内作成 他
Ⅱ. 事業費	18,120,000	
Ⅰ. 名簿作成費	0	2004年度以降当面凍結(同窓会年度)
Ⅱ. 行事費	5,000,000	卒業生記念品(1,000,000)、懇親会(3,300,000)、退職者記念品(150,000)、永年表彰金品(100,000)、奨励生の集い(100,000) 他
Ⅲ. 同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫
Ⅳ. 補助費	4,750,000	各支部補助等(4,050,000)、英研・学祭・体育祭(600,000) 他
Ⅴ. 奨励費	200,000	@50,000×4名
Ⅵ. 会報発行費	5,700,000	印刷代(1,070,000)、郵送料(3,230,000)、封入作業・封筒作成(1,400,000)
Ⅶ. 業務委託費	70,000	名簿整備、懇親会司会者謝礼 他
Ⅷ. プロジェク活動費	1,500,000	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
Ⅷ. 寄附	500,000	北星学園創立100周年記念館
Ⅸ. 予備費	2,885,661	
Ⅹ. 資金積立金	3,000,000	
Ⅺ. 次年度繰越金	0	
<支出計>	29,105,661	

退任にあたって 北星への期待



北星学園大学
同短期大学部 学長
金井 新一

北星学園大学での六年間の任期が終わろうとしております。この間、多くの皆様によって支えられてきたことを感謝し、また、北星の更なる発展を願いつつ、次の方にバトンを渡したいと思っております。

今北星を去るにあたって改めて強く思うことは、この大学の北海道での存在価値ということ。北星は高い社会的評価を得ており、教職員も学生たちも北星という名前に誇りをもって居ます。これは何にも代えがたい素晴らしいことです。

ですから、この状態をしっかりと保ち続けることがなにより大切だと思います。それには、やはりまず建学の精神を堅持することではないでしょうか。それは他にはないこの大学の個性だからです。神との対話にむけて人間は創られているというキリスト教の教えに立脚していることが、このような社会的信頼や評価を生むことになった一つの理由ではないでしょうか。またそれが、北星の良さである一人ひとりの人間を大切に考えることや、強者におもねらず弱者を助けるといった気風にも繋がっていると思います。

このような精神的土台の上に、大学としての多岐にわたる教育活動があり、また、随時、時代の要求に応えたさまざまな教育改革があります。北星は無論これらのことを堅実にやってきました。今回はさらに、開学五十周年のいろいろな企画や催しがありますが、このような周年行事はある組織が大きいチャンスです。皆で力を合わせて本学の充実にむけて進んで行っていただきたいと思います。

北星は長い間、道内の私学第二位の安定した地位にあり、前述したように札幌のブランド大学でありましたので、上品で鷹揚な校風が身についているように、外から来た私には思われます。もちろんそれは良い校風なのですが、これから大学間の生存競争が激しくなっていくときに、それだけでは十分というとも言えるでしょう。なにより、このような快適な地位に安住する傾向はほとんど抗いがたいものではないでしょうか。ゆえに、北星は今、新しい時代に入ることをためらっているように思われます。その必要性を感じてはいるが、まだ新しい長期的な構想や計画をもって立ち上がることはできません。全学的な含意がでない状態なのです。しかし、それは時間の問題です。私が学長であったこの六年間はまだ成熟期間だったのだと思います。しかしこの間の様々な提案とそれをめぐる議論によって、準備はなされてきたのです。あとは踏み出すだけです。

私は小さい時から北星のことを母や叔母たちから聞いて育ちました。そしてこの六年間は現実の北星を体験しました。今後は、同窓生の気持ちで、はるかに東京から声援を送りたいと思います。

退職される教職員から

北星の名において



社会福祉学部 教授
米本 秀仁

私の北星学園大学との関わりは、文学部社会福祉学科の学生としての四年間（学籍番号651259だった）の一年間、そして、一九八一年九月からの文学部・社会福祉学部の教員としての約三十年間であり、合計三十五年間を北星学園大学に在籍したことになる。私のこれまでの人生の半分以上である。それだけにこの時点での定年退職は感無量と言いたいが、終わってしまうは「なるほど、済んだ」という一言で完了する。

この間、いわゆるプレハブ時代から今のキャンパスまで、時代から今のキャンパスまで、現場

の福祉実践と如何に接続するか、現場との絡みで福祉教育を如何にシステム化するか、とりわけ社会福祉士制度ができた時点から、福祉の（ソーシャルワークの）実践力を如何に教育・訓練するかに腐心してきたつもりであった。常に実習教育を中核においてきたのもその意図である。但し、その成果については、他者の評価を待つしかない。北星のストーリーは「この暗き世にあって星のように輝け」であるが、この句が私は好きである。北星福祉の卒業生が、北星の名において、この星になれているかが問われる。いつもやり残したことを気に掛けながらも、次の仕事に取り掛からなければならぬ時期を終えたが、非常勤講師としての北星へのかわりは続きそうである。北星に感謝。

同窓会との交わりに深く感謝



財務課（元大学事務局長）
藤森 富士雄

一九七〇年五月に当時の女子短期大学会計係として採用されて以来、今日まで一貫して財務を中心とする管理系の業務に携わって参りました。特に、学部・学科増設、大学院設置・臨時定員増等の認可申請時には、法人の立場から申請業務に携わり、申請書類の下見・提出等々大学スタッフの方々と当時の文部省に出向いたことが懐かしく思い出されます。

一九七〇年五月に当時の女子短期大学会計係として採用されて以来、今日まで一貫して財務を中心とする管理系の業務に携わって参りました。特に、学部・学科増設、大学院設置・臨時定員増等の認可申請時には、法人の立場から申請業務に携わり、申請書類の下見・提出等々大学スタッフの方々と当時の文部省に出向いたことが懐かしく思い出されます。

映画館からふり 返る大学生活



文学部 心理・応用コミュニケーション学科
小林 佑輔

最近よく映画館へ行く。映画館へ行き、以前は、人との付き合いで行くことがあっても、自分の意思で行くことはありませんでした。どうして最近の自分は自分の意思で映画館へ行くのか、その理由を考えました。考えるうちに大学に入ってから自分に起きた変化に気づきました。「北星学園大学を卒業するにあたって」、その変化を三つ発表します。変化の一つ目は、アルバイトをするようになったこと。使えるお金が増えたことで、映画のチケットが買えました。変化の二つ目は、活動範囲

と視野が広がったこと。大学内外での色々な体験によって培われた好奇心が、映画を求めるようになりました。変化の三つ目は、人との繋がりを大切に思うようになったこと。他人と繋がるための道具として、映画は利用できました。

卒業にあたって、私の大学生活に付き合ってくれた全員に感謝と「もしよかつたら、今後もし付き合ってください」という気持ちです。

編入学生としての 大学生活



社会福祉学部 福祉臨床学科
廣田 真子

私は、保育士養成校を卒業したのち三年次編入学生として北星学園大学に入りました。

二年前、私は三年生として入学しましたが、わからない事ばかりで私の気持ちには新一年生のように思えました。同学生年であるはずの他の三年生とは学びの深さに差があり、出遅れてしまったように感じました。そして、一年経ったら卒業の年となり、まるで一年生から急に四年

生になってしまったような感覚になったのを覚えています。

講義や実習、卒業論文、就職活動など内容の詰まった二年間はあっという間で、無事卒業を迎えられることにホッとしますが、私がこれまで来られたのは、支えてくれる方々の存在があったからだと思います。同じ編入学生の仲間とは、励まし合い協力し合うことで一緒に大学生活を乗り越えてきました。同学生年のゼミの友人には大学の先輩としても色々なことを教えていただいたし、臨床学科の先生方は親身に対応してくれました。また、編入学を勧めた先生、経過を見守ってくれてくれた前大学の講師や私の健康などいつも気遣ってくれた家族には本当に支えられてきたと感じています。ありがとうございました。

大学生活を 振り返って



経済学部 経済学科
津田 彩花

私の大学生活は、出会いとチャレンジの連続でした。多くの思い出の中でも特に印象に残っているのは、フェアトレードの活動です。大学でフェアトレードと出会い、多くの貴重な経験をすることができました。自分たちでイベントをやること以外にも、イベントへの出店、商品開発など、多くの人と接することができ、広い視野で物事を見ることができるようになりました。実際に現地のスラムを訪ねたことも活動への意欲向上につながりました。初めての経験が多く、団体運営

は簡単ではありませんでした。学業との両立に苦しんだこともありましたが、現在の団体の姿を見ると仲間と活動できた私は幸せ者だと思っています。学内での活動だけでなく、FTSN（Fair Trade Student Network）にて全国の学生を集めた合宿の運営を通じ、全国の学生とともに活動できたことで、学生の持つパワーを知り、高め合うことができたと感じています。

私がここまで自由に活動できたのも、周りで支えてくださった多くの方々のおかげです。教職員の皆さん、フェアトレードの仲間、吹奏楽の部員、家族、友人たち、みなさんがいたから私は今日卒業を迎えられたと思います。本当にありがとうございます。

最後に、お世話になった面々を始め、大学の友人たち、講師の方々、就職支援課の皆さま全てに感謝申し上げます。二年間、本当にありがとうございました。

充実した二年間



短期大学部 生活創造学科
杉浦 里奈

一言に尽きますが、この二年間はとても充実していました。大学に入学し、新しくできる友人の存在やゼミで専攻している情報の授業以外にも、今まで触れたことのなかった心理、経済、芸術などを幅広く学ぶことで、自らの視野が広がったと思います。

大学に慣れ、落ち着いてきた一年生の後期からは就職活動を始めました。本当

に自分が就職できるのかという不安もありましたが、就職支援課の方々に履歴書の添削や面接の練習をしてもらうことで無事に内定をいただくことができました。面接で落ちた時は落ち込みましたが、どこが悪かったかを考えることで成長できたと思うので、良い経験になりました。

今回卒業にあたり、大学は自分の興味のある分野について深く勉強することができ、また、自分の将来についてゆとり考えることができる場だと改めて思いました。これからは大学で得た知識や経験を活かし、社会の一員として頑張りたいです。

開学50周年記念事業 | 北星学園大学 - Windows Internet Explorer

http://www.hokusei.ac.jp/50th/

お気に入り 開学50周年記念事業 | 北星学園大学

北星学園大学は2012年、開学50周年を迎えます。

Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

開学50周年を迎える北星学園大学
チャペル音響設備を含むパイプオルガン、ピアノを寄贈

北星学園大学が、二〇一二年に開学五十周年を迎えます。北星学園大学は、一九六二年に文学部英文学科と社会福祉学科を設置され、現在では、三学部八学科となり、全学部で約四〇〇〇名の学生が学んでいます。また、同窓生数は二五、〇〇〇名に届こうとしています。大学では開学五十周年を記念して、記念祝賀会や記念講演会などが行われます。本同窓会として、チャペル音響設備を含むパイプオルガン、ピアノの新調費用について、その費用の一部を援助し、寄贈に代える予定です（昨年十月の総会で了承済み）。チャペルのパイプオルガンは、北星学園大学開学三年後の一九六五年にチャペルに設置され、北海道内のパイプオルガンで現在演奏可能なものとしては最古のものと言われています（※現パイプオルガンは、別の場所に移設され、演奏が続けられる予定です）。

今号では、大学で現在予定されている開学五十周年記念事業の概要について紹介することにも、記念公開講座についてご案内します。

現在のパイプオルガン

★ 記念事業

『北星学園大学開学50年史』及び『北星学園大学50年写真集』の発刊
現在、大学50年史編集委員会では年史及び写真集の発刊に向けて準備中です。写真集は2012年10月13日の記念式典当日に配布、年史については2013年3月末の発刊予定です。ただし、編集作業の進捗状況によっては発刊が遅れる場合もあります。

『学園創設者たちの言葉（仮題）』をHP公開
『学園創設者たちの言葉（仮題）』編集委員会は、学園創設者サラ・C・スミス氏の創設からの未解明部分について、史料を整理して大学ホームページ上に公開予定です。長老訓教団とその宣教師への報告、個人の手紙、雑誌に掲載された記事等を含める膨大な資料から創立関係の重要なものを選び、その中から一部を日本語に訳しております。学園史に興味を持っている一人でも多くの方々に自由にアクセスしていただきたいと思っております。

礼拝堂音響設備とパイプオルガン・ピアノの購入
パイプオルガン等選定委員会は、大学開学50周年記念事業として礼拝堂音響設備とパイプオルガン・ピアノの購入を計画しています。

大学開学50周年記念ロゴデザインの決定
大学50周年記念コンテスト企画委員会では、北星学園内の学生・生徒及び教職員並びに大学・短期大学部同窓生を対象に開学50周年記念ロゴデザインを公募し、審査の結果、95作品の中から最優秀作品1点、優秀作品2点を決定しました。
最優秀（採用）作品は掲載のとおりですが、優秀賞2点を含むコメントなど詳細については大学公式ホームページからご覧いただけます。
なお、トップページに「開学50周年記念事業」の特設バナーがあります。入口はこちらです。
<http://www.hokusei.ac.jp/50th/>

★ 記念式典・祝賀会

北星学園大学では開学50周年を記念して、
2012年10月13日（土）に記念式典・祝賀会を開催します。

記念式典
会場：本学図書館棟4階（特別教室AB）
開場13:30 開演14:00
式典終了後～パイプオルガン演奏披露目式（チャペルにて）を予定しております。

祝賀会
会場：札幌パークホテル
開会18:00
開学30周年記念祝賀会においても札幌パークホテルにて大学と同窓会による合同の開催でした。故・遠藤憲一氏（元北星学園大学同窓会長）は同窓会だよりで次のように記載しております。『堂々たる山崎保興大学長の挨拶に始まり、祝杯が終わると同時に会場は騒然となりました。当然、盛り上がりを見せようとしているのは同窓会の面々のテーブルです。一応の配列はありましたが、15分もすると乱れに乱れ、壇上の喧嘩はさぞおき旧交を温めているという状況で、例年行われているこれぞ同窓会懇親会という光景が再現されていました。』
大学開学50周年の主役は「同窓生」です。多くの方々のご出席をお待ちしております。
なお、式典同様祝賀会の詳細、申込み方法は次号にてお知らせします。

★ 記念公開講座

（各回時間 18:20～19:50）

テーマ「今、私たちの世界を見つめる—北の大地と星と希望と—」

第1回 2012年9月28日（金）
演題：（仮題）「北星」の命名者 新渡戸稲造—その国際性に学ぶ
講師：土橋信男（北星学園理事長）
場所：北星学園大学

第2回 2012年10月5日（金）
演題：（仮題）星の世界を眺め、星を見つめる—札幌青少年科学館への招待
講師：札幌市青少年科学館天文係職員 様
場所：札幌市青少年科学館（プラネタリウム）

第3回 2012年10月12日（金）
演題：（仮題）世界の中心の北海道—そのマス・メディアの将来像
講師：菊地 真氏（放送作家・元北星学園大学教授）
場所：北星学園大学

第4回 2012年10月19日（金）
演題：地方再生の星とならん—市長の挑戦
講師：鈴木直道氏（夕張市長）
場所：北星学園大学

第5回 2012年11月2日（金）
演題：北海道の食の未来を考える—フィンブリの立場から
講師：中澤一行 様・由紀子 様 ご夫妻（岩見沢市栗沢町ワイン用ぶどう農園主）
場所：北星学園大学

お問い合わせ先
北星学園大学
エクステンションセンター内
記念講演会・記念公開講座係
Tel: 011-891-2731（代表）

第1回～第4回までは各回定員200名、第5回目の講演会については、講師の費用によるサインと軽食付の講演会になります。第3回から第4回までの講演会の内、3回出席いただいた方から抽選で100名の方をご招待いたします。当選者にはハガキでご案内を差し上げます。参加申し込みについては、詳細が決まり次第大学ホームページ上に掲載いたします。申込み受付は8月を予定しております（電話・ファックス・メール等で受付後、整理券を発送予定）。

寄付		募金のご協力に深く感謝申し上げます。		二〇二二年一月末日現在（敬称略）	
中谷 信毅	羽毛 常治	小川 隆	黒田 恭子	鈴木 知恵子	菊地 美喜子
三谷 千鶴江	高橋 孝子	松代 恵子	藤原 磨耶	荒谷 けい子	北野 美紗子
宮越 磨耶	石井 静子	田辺 恵理	藤原 清輝	鈴木 美千代	永治 己須生
浮田 清輝	鈴木 美千代	武越 直子	高澤 千代子	襲地 敏子	能登 三保子
山西 爾	今 麻美子	太田 和紀子	高橋 栄子	森 朝子	山川 真幸子
本間 博美	二ツ川 憲昭	大場 広美	住田 逸子	粕谷 孝子	北城 泰典
五十嵐 潔	武田 光子	山本 みる	小村 知江	宮本 章義	加藤 奈穂子
高橋 静江	宮本 章義	吉田 路恵智子	朝倉 美恵子	新井 田二子	中里 恵子
新井 田二子	荒井 留以子	村住 敬子	林 清美	小栗 美紀	千田 夕子
及川 啓彰	篠 順子	中村 孝子	大沼 秀子	横山 佳奈	相澤 裕子
寺山 晏子	外塚 苑美	柴川 明子	岩間 美佐子	清水 典子	米田 民子
中島 涼子	山崎 ひろみ	金子 一朗	尾崎 聖	品田 悦子	岩城 和子
丸山 匡恵	林 ひとみ	岩城 之博	坂井 智恵子	若林 伸二	森 眞琴
向原 孝	保木 奈保子	倉 弘子	仁志 貴久江	小川 壽美	谷津 珠代
里村 としこ	三瓶 紀子	近藤 総子	猪尾 陽子	池田 理恵	関口 利明
久道 佳子	橋本 宏子	上野 祥子	藤田 淳子	齊藤 真佐子	佐藤 豊秀
村田 耕二	齊藤 うめ子	米澤 智恵子	山岸 順子	渡部 美恵	水上 郁美
小岸 順子	魚山 巳子	堤 長谷川 郁美	富田 佐保子	狩野 郁子	大澤 美恵子
齊藤 麻里	小笠原 美和子	石川 靖子	齋藤 和	木村 謙治	万亀 浩治
小野 哲家	杉野 友美	松田 浩治	森田 洋史	岩谷 美恵	松田 浩治
堀田 京子	功刀 克恵	匿名	人数 一三三名	金額 一七五五、〇〇〇円	

同窓会事務局 瀬野

六十五号発行となりました。

「五十周年という機会に、皆さまの母校愛をより深めていただくたい」そんな気持ちを含めまして次号（九月一日発行の大谷地だよりでは開学五十周年特集を企画しております。母校の歴史を懐古しつつ、こんな時代もあったのかと新しい発見ができる紙面づくりに取組む予定です。お楽しみに。

なお、四月から転居等で現住所が変わられる方は同窓会事務局へご一報ください。変更方法等の詳細はHPにも掲載されておりますので、よろしくお願いいたします。

学生ボランティア基金への
ご寄付について

北星学園大学・同短期大学部学生
の東日本大震災被災地への派遣
ボランティア基金に係る寄付金の
依頼について、先の大谷地日より
(二〇一二年九月一日号)にてご案内
しておりましたが、多くの同窓生
の皆さまから左記のとおりご寄
付のお申込みをいただきました。同
窓生の皆さまのご高配に深く感謝
申し上げます。寄付金につきましては、
今後も継続的に派遣して参
ります学生の派遣費用の貴重な財
源として活用させていただきます。

学 長 金井 新一

※寄付に関するお問い合わせにつきましては
北星学園大学・短期大学部 財務課 財務 経理係
(〇二一八九一七三三)までお願いいたします。

同窓生の仲間入りをした新入会員の皆様、ご卒業おめでとうございます。

二〇一二年、北星学園大学は開学五十周年を迎えます。これまで多くの同窓生に読まれ続けてきました大谷地だよりも一九七五年に第一号を発行してから三十

